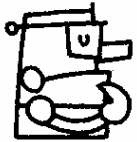


## なぜ星は、暗くならないと光らないの



星は昼間も出て光っているんだけど、太陽の光が強すぎて見えないだけさ。

**光が強いところでは、弱い光は見えなくなる**

夜に、明かりがないところでは、かい中電灯<sup>でんとう</sup>が役に立ちます。ところが、そのかい中電灯を、明るい電灯の下や、昼間つけても、光が弱くてほとんど気がつきません。

同じように、空にはいつも星が出ていて、いつも同じように光っているけど、明るい昼間には、光が弱すぎて見えないのです。だから、夕方から夜にかけて、だんだん暗くなるにつれて、星は光り出すように見えます。

**人工の光が、星を見えなくしている**

都会の明るい町の中や、ネオンがたくさんあるところ、ライトアップされたビルや橋などの近くでは、星はほとんど出ていないように見えます。ところが、人家や工場などが少ない山や海の近くなどでは、空にはこぼれ落ちそうなほど、たくさんの星が光っています。人工の光がない山や海などでは、あたりは真っ暗なので、かなり弱い光の星まで光ってよく見えるからです。

そのため、星を観測する天体観測所は、できるだけ町からはなれた、人工の光が近くに入ってこない、山の上などにつくられています。

満月に近い、明るい月が出ているときも、月の明るさのために光が弱い星は見えなくなり、星が少ないように見えます。

雲などにじゃまされない、  
宇宙で天体観測するのが  
いちばんいいのさ。

